

先人たちの理論・技法を基本として学びながら
現場に即した日常臨床へ

日常臨床のための 対象関係論WEBセミナーのご案内 (第三期)

講師：名古屋心理療法オフィス 祖父江典人
事務局：近藤麻衣

テーマ

日常臨床のためのクライン派入門

- [日程] 令和4年5月～配信スタート
原則月1回(年間計10回)
- [受講料] 3万円
(院生、研究生2万円)
- [締切] 令和4年4月30日
(これ以降でも申し込み可)
- [受講資格] 臨床心理士、公認心理師、医師
看護師、福祉系援助職、教師
臨床心理系の大学院生
その他守秘義務を持つ専門家

申込み

別添の「WEBセミナー第三期参加申込書」に記入の上、事務局(taisho_kankeiron_nagoya@yahoo.co.jp)までメールでお申し込みください。

問い合わせ

メール：taisho_kankeiron_nagoya@yahoo.co.jp
ホームページ：<https://nagoya-psychotherapy.com/>

第三期セミナーの内容

今期は「日常臨床のためのクライン派入門」を予定しております。始祖クラインから現代クライニアンまでのクライン派理論をひとつお話しします。そのうえで、クライン派理論・技法をいかに日常臨床に役立てるかの考え方や工夫をお伝えしたいと考えております。

クライン派と言えば、理論的には攻撃性・破壊性を臨床の肝としていますが、技法的にも、陰性転移の扱いを主要テーマにしています。

私たちは、とかく破壊性を向けられたり、陰性転移が起きてしまったり、中断になったりすることに臆病ですが、セラピーや援助においてとても大事になるのは、実はそうした難しい局面になってから、そこをどう生き残るかにあるのです。

人間のこころの暗部に鋭い洞察力を発揮するクライン派理論と技法は、日常臨床においても、破壊性をどう生き残るかに多くの叢智をもたらしてくれることでしょう。

なお、講師は祖父江典人ひとりによる講義です。その分、年間一つのテーマに対して系統的な視点で一貫した内容をお届けしたいと考えています。



ごあいさつ

本セミナーは、WEB形式（ストリーミング動画配信）によるセミナーを実施しております。これまで10年間ほど対面式のセミナーとして開催してきましたが、コロナの影響により、WEB方式に切り替えました。対面ではありませんが、「質問コーナー」と「ミニSVコーナー」を設け、参加者の方々と双方向のコミュニケーションを心がけております。さらには、ストリーミング配信ですので、忙しい日々の合間を縫って、お好きな時間に受講いただけます。

まず、本セミナーの趣旨を述べたいと思います。

今日、臨床心理士・公認心理師の職域が広がりを見せつつあることを鑑み、日常臨床の現場で活かせる精神分析の応用を、本セミナーの趣旨としています。

では、精神分析の理念とは何でしょうか。それは、「自己を知る」ことによる自我（主体性）の強化です。すなわち抑圧されたり、スプリットされていたりする自己部分を自我の中に統合し、自我強化を図ることが精神分析技法の基本理念となります。

ですが、医療のみならず、福祉・教育・産業などに及ぶ今日の臨床のすそ野を考えた場合、自由連想や解釈を中心とした技法によって、その目的を果たそうとすることは現実的ではありません。自己を知るに耐えうるだけの自我の強度を持たない、自我脆弱群も日常臨床のすそ野として広がっているからです。そのためには、技法的工夫も必要とされます。

さらに今日では、治療構造の枠の中で面接できる臨床状況ばかりではありません。福祉系の援助現場やリエゾン領域などがそれに相当しますが、応用は可能です。すなわち、精神分析は、納得した生き方（あるいは死に方）を主体的に選び取る自我の援助に貢献しうるので。

本セミナーでは、先人たちの理論・技法を基本として学びながらも、現場に即した日常臨床への活かし方を検討することを主旨としています。



◇ WEBセミナーの受講方法について

- ・名古屋心理療法オフィスのホームページの「会員」サイトから視聴できます。
- ・会員サイトへのログインには、「ユーザ名（メールアドレス）」と「パスワード（PW）」の設定が必要となります。別紙「WEBセミナー第三期参加申込書」にてご案内しております。
- ・これまでに本WEBセミナーを受講され、すでに会員の方は、申込書の該当欄に記載ください。同じログイン設定で第三期もご視聴いただけます。
- ・ストリーミング動画配信ですので、ダウンロードの時間を待たずに同時進行で視聴できますし、何回でも好きな時間に視聴可です。
- ・PCでもスマホ等のモバイルでも視聴可です。
- ・動画は視聴しやすいように、およそ20分単位ごとに編集してお届けします。
- ・受講いただいたセミナーに関しては、視聴期限はありません。本オフィスが続く限り、視聴可です。

◇ 日本臨床心理士資格認定協会ポイントについて

本セミナーは、WEB形式ですが、今年度も日本臨床心理士資格認定協会、定例型（継続型）研修会（4ポイント）に認可されております。

◇ 名古屋心理療法オフィスホームページ

<https://nagoya-psychotherapy.com/>の「お知らせ」欄等でも、本セミナー等に関する情報を随時掲載しますので、よろしければご参照ください。

次ページに今期の内容のご案内を掲載しています。
どうぞ皆様のお申し込みをお待ちしております。

令和4年1月12日
日常臨床のための対象関係論WEBセミナー代表
名古屋心理療法オフィス 祖父江典人



◇ 今期の講義スケジュール

セミナー 講義スケジュール 令和4年度(2022) 約2時間		
月日	テーマ	講師
2022/5/23(月)配信予定	破壊性という苦痛と快樂クライン1――子どもの破壊性	祖父江典人
2022/6/27(月)配信予定	破壊性という苦痛と快樂クライン2――PS的破壊性と抑うつ的破壊性	同
2022/7/25(月)配信予定	破壊性という苦痛と快樂クライン3――破壊と孤独	同
2022/8/29(月)配信予定	破壊性の受け皿――逆転移	同
2022/9/26(月)配信予定	破壊性に潜むコミュニケーションの願い――ローゼンフェルト他	同
2022/10/24(月)配信予定	倒錯した破壊性――スタイナー、ジョセフ他	同
2022/11/28(月)配信予定	日本のクライン派――松木邦裕と衣笠隆幸	同
2022/12/26(月)配信予定	破壊性の悲劇ビオン1――羨望の沼に沈む悲劇の結晶	同
2023/2/27(月)配信予定	破壊性の彼岸ビオン2――創造の予兆としてのコンテニング理論	同
2023/3/27(月)配信予定	自閉症における破壊性――もうひとつの死の本能	同

◇ 質問コーナー

各回のセミナー講義に関する質問を受け付けます。翌回のセミナー講義の中で、ご返答いたします。講義内容自体でなくとも、そこから連想された質問でも構いません。[セミナー事務局メール taisho_kankeiron_nagoya@yahoo.co.jp](mailto:taisho_kankeiron_nagoya@yahoo.co.jp)宛にふるってご質問ください。

◇ ミニSVコーナー

理論と実践を結びつけるために、ミニSVを受け付けます。

- ・臨床事例のミニSVを求められる方は、A4、1枚程度に臨床事例の要点をまとめ、検討事項をお示しください。臨床事例は構造化された面接には限りません。福祉や教育やリエゾン系の援助事例でもかまいません。
- ・まとめ方や検討事項の提示の仕方は、特に決まりはありませんのでお任せします。翌回のセミナーにて回答いたします。
- ・なお、本セミナーは守秘義務のある会員のみ視聴できますが、念のため守秘性を担保するために、事例の一部改ざん等は、必要に応じてしてください。
- ・質問コーナーと同じく、ミニSVのご要望は、[セミナー事務局メール taisho_kankeiron_nagoya@yahoo.co.jp](mailto:taisho_kankeiron_nagoya@yahoo.co.jp)宛にお願いいたします。